



電子薬歴でご活用頂くことを目指した

緑内障服薬指導用入力補助文言集

※本文言集は、参天製薬株式会社様のご協力を得て、「服薬指導コミュニケーションガイド」を参考にして作成しております。

薬剤師とSEが「とも」につくる
国内トップレベルの技術と信頼の医療データベースで
安心を提供しております。

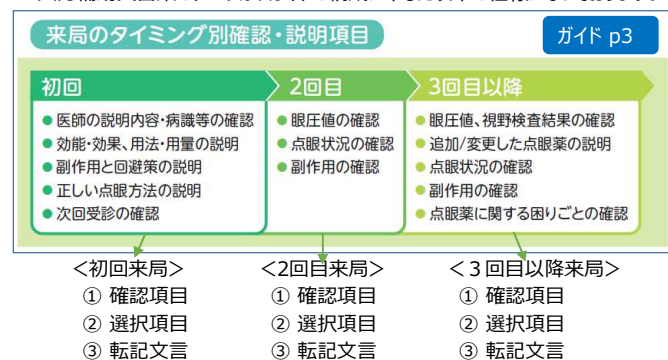
2017年11月作成
1.0版

■「服薬指導コミュニケーションガイド」を参考にした薬歴入力を補助する文言集について

参天製薬株式会社様が緑内障患者さんの治療継続を目指して作成された「服薬指導コミュニケーションガイド」と連動し、薬歴入力時の入力補助用の文言集としてご利用頂くことを目的としております。

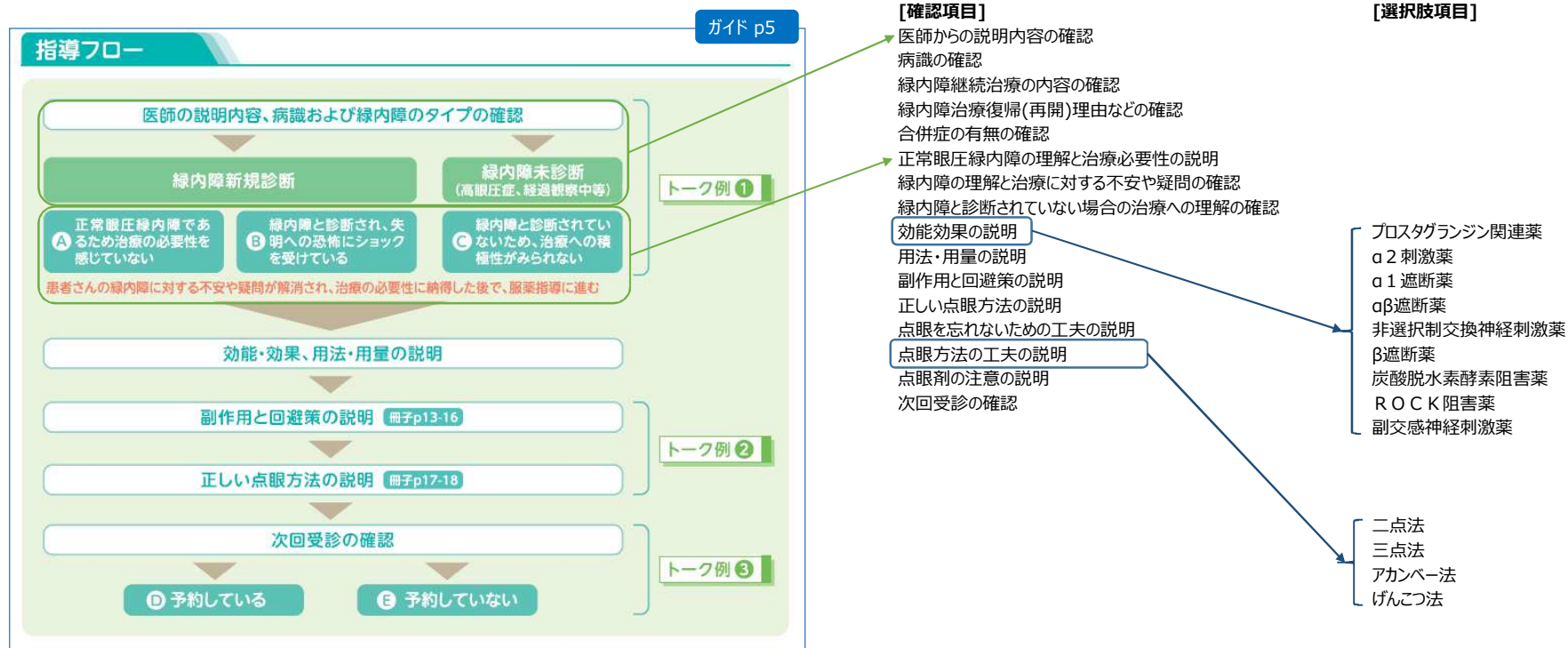
※電子薬歴システムのユーザー登録テンプレート等の参考データとしてご利用頂くことを前提としております。

入力補助文言集のデータは、ガイドの構成に準じた以下の仕様になっております。



各来局時の確認項目や転記文言は、ガイドの「指導フロー」や「トーク例」を基にしており、服薬指導時の患者さんとのトークをSOAP形式の電子薬歴でご利用し易いように作成しております。

例) 初回来局（初めて緑内障治療薬が処方された時）



[選択項目]と[転記文言]のイメージ

※「確認項目」のすべてに「選択項目」があるわけではありません。

[確認項目]	[選択項目]	[転記文言]	SOAP区分
医師からの説明内容の確認	説明なし	疾患や処方薬についての説明なし。	O
		疾患についての説明なし。	O
		処方薬についての説明なし。	O
	説明あり	処方薬の用法が不適切。	O
		疑義照会（ ）。	A
	開放隅角緑内障	開放隅角緑内障と認識している。	O
	閉塞隅角緑内障	閉塞隅角緑内障と認識している。	O
	正常眼圧緑内障	正常眼圧緑内障と認識している。	O
	高眼圧症	高眼圧症と認識している。	O
病識の確認	経過観察	緑内障とは診断されていない。	O
		現在、診断名つかず。経過観察と認識している。	O
	術後の一過性眼圧上昇	術後の一過性の眼圧上昇と認識している。	O
		処方医から緑内障としか言われていない。	O
		病態について理解している。	O
		病態について、理解していない。	O
		眼圧値（R: mmHg, L: mmHg）。	O
		次回、病態について確認。	P
緑内障継続治療の内容の確認		治療期間（ ）。	O
		前回まで他薬局にて調剤、治療継続中。	O
		今回より処方変更あり。	O
		眼圧確認（R: mmHg, L: mmHg）。	O
緑内障治療復帰(再開)理由などの確認		治療中止していた理由（ ）。	O
		治療を再開した理由（ ）。	O
		治療歴、過去にあり（ ）年頃）。	O
		眼圧値（R: mmHg, L: mmHg）。	O
合併症の有無の確認	合併症なし	合併症、現在特に無しとのこと。	O
		合併症あり（ ）。	O
		併用薬、現在特に無しとのこと。	O
		併用薬あり（ ）。	O
		気管支喘息、治療中。	O
	合併症あり	気管支喘息、既往歴あり。	O
		合併症について、処方医に報告済み。	O
		合併症について、処方医に報告していない。	O
		疑義照会（ ）。	O
正常眼圧緑内障の理解と治療の必要性の指導		治療の必要性を感じていない様子あり。	A
		眼圧が高くない緑内障について説明。継続治療の必要性を説明。	A
		正常眼圧緑内障であっても、眼圧を下げることで緑内障の進行が抑えられるデータもあることを説明。	A
		今後のQOLの向上のためにも、治療の必要性を説明。	A

[確認項目]ごとに薬歴への[転記文言]を作成しており、電子薬歴システムにユーザー登録文言として予め登録しておくことにより、患者さんとの会話の内容に合わせた文言を薬歴に入力することができます。

選択肢が無い転記文言は、共通入力補助文言となります。

■ 電子薬歴システムでの利用イメージ



眼圧を下げる目薬が処方されていますが、先生は何とおっしゃっていましたか？

眼圧が高く、緑内障だと言われました。



電子薬歴システムの薬歴入力時のご利用イメージ

確認項目	前回指導日	▲
医師からの説明内容の確認		
病識の確認		
緑内障継続治療の内容の確認		
緑内障治療復帰(再開)理由などの確認		
合併症の有無の確認		
正常眼圧緑内障の理解と治療必要性の説明		
緑内障の理解と治療に対する不安や疑問の確認		
緑内障と診断されていない場合の治療への理解の確認		
効能効果の説明		
用法・用量の説明		
副作用と回避策の説明		
正しい点眼方法の説明		
点眼を忘れないための工夫の説明		
点眼方法の工夫の説明		▼

プロブレムリスト	開始日	前回指導日	終了日
#			

S	

O	
	開放隅角緑内障と認識している。 眼圧値 (R: 24mmHg, L: 22mmHg)。

A	

P	

選択	
開放隅角緑内障	
閉塞隅角緑内障	
正常眼圧緑内障	
経過観察	

転記	
(O) 開放隅角緑内障と認識している。	
(O) 処方医から緑内障としか言われていない。	
(O) 病態について理解している。	
(O) 病態について理解していない。	
(O) 眼圧値 (R: mmHg, L: mmHg)。	
(P) 次回、病態について確認。	

電子薬歴システムによって、ユーザーが予め登録しておける項目や文言の仕様は違いますので、お使いになられている電子薬歴システムの仕様に合わせて、必要な[確認項目]や[転記文言]を登録してご利用頂く形になります。

■ 緑内障服薬指導用入力補助文言集レイアウト

■ 説明

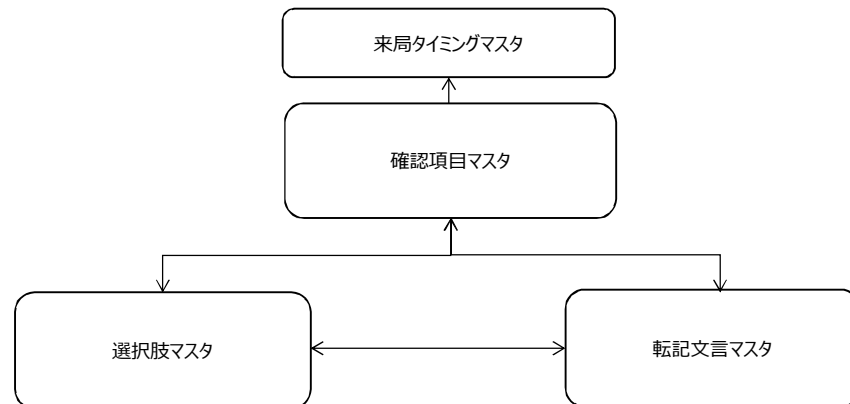
緑内障患者さんの服薬指導時に役立つ確認項目及び服薬指導記録転記用の文言集になります。

※確認項目は参天製薬株式会社様の『服薬指導コミュニケーションガイド』を参考にしています。

緑内障服薬指導用入力補助文言集は、以下の4つのマスから構成されています。

種類	説明
来局タイミングマス	初回、2回目等の来局タイミングを保持している
確認項目マス	来局状況毎に確認すべき項目及び説明文を保持している ※確認項目と説明文が紐付いている。
選択肢マス	確認項目毎に選択肢を保持している 当該マスは選択肢のみを保持しており、「選択肢マス」と「転記文言マス」を併用することにより、選択肢より選んだ際に選択肢に沿った文言を転記することが可能となる
転記文言マス	選択肢毎に転記文言及びその転記先（SOAP形式が基本）を保持している

■ 関係図



■ 用途

緑内障の服薬指導時に、服薬指導記録に転記する際の入力補助文言として活用することを目的とした文言集になります。

■レイアウト

提供形態：CSVテキスト形式

来局タイミングマスタ

項目名称	型	長さ	属性	説明	備考
来局タイミングマスタPK	数値	整数		来局タイミングSEQ	1 からの連番
来局タイミング名称	文字	可変		来局タイミング（「初回来局」など）	

確認項目マスタ

フィールド名称	型	長さ	属性	説明	備考
確認項目マスタPK	数値	整数		確認項目SEQ	10 からの連番
来局タイミングマスタPK	数値	整数		来局タイミングSEQ	
確認項目名称	文字	可変		確認項目名称（「病識」など）	
説明文	文字	可変		説明文	

選択肢マスタ

項目名称	型	長さ	属性	説明	備考
選択肢マスタPK	数値	整数		選択肢SEQ	100 からの連番
確認項目マスタPK	数値	整数		確認項目SEQ	
選択肢名称	文字	可変		選択肢の名称（「合併症あり」「合併症無し」など）	

転記文言マスタ

項目名称	型	長さ	属性	説明	備考
転記文言マスタPK	数値	整数		転記文言SEQ	300からの連番
選択肢マスタPK	数値	整数		選択肢SEQ（番号無しの場合は選択肢に依存しない文言）	
確認項目マスタPK	数値	整数		確認項目SEQ	
転記文言	文字	可変		転記文言	
SOAP区分	文字	可変		1:S、2:O、3:A、4:P	

■緑内障服薬指導入力補助文言集結合イメージ

来局・来局タイミング名称
1 初回来局
2 2回目来局
3 3回目以降来局

確認	来局・確認項目名称	説明文
10	1 医師の説明内容の確認	医師からの説明内容の確認
11	1 病識の確認	患者の病態に関する理解の確認
12	1 緑内障継続治療の内容の確認	治療期間、前回までの調剤内容の確認
13	1 緑内障治療復帰(再開)理由など治療歴、中止及び再開した理由の確認	
14	1 合併症の有無の確認	合併症の有無の確認
15	1 正常眼圧緑内障の理解と治療の必要性の指導	正常眼圧緑内障の理解と治療の必要性の指導
16	1 緑内障の理解と治療に対する不安・失明など緑内障の症状や治療に対する不安や疑問	
17	1 緑内障と診断されていない場合の緑内障と診断されていない場合の治療への理解の確認	
18	1 効能効果の説明	薬剤ごとの効能効果の説明
19	1 用法・用量の説明	薬剤ごとの用法用量の説明
20	1 副作用と回避策の説明	薬剤ごとの代表的な副作用と点眼方法や処置による回避策の説明
21	1 正しい点眼方法の説明	医師からの説明の有無などの確認
22	1 点眼を忘れないための工夫の説明	時間設定の工夫の説明
23	1 点眼方法の工夫の説明	目薬の持ち方などの説明
24	1 点眼薬の注意の説明	点眼薬の期限、保管など注意点の説明
25	1 次回受診の確認	次回予約日などの確認
26	2 処方薬の確認	前回との変更点、残薬などの確認
27	2 効能効果の説明	薬剤ごとの効能効果の説明
28	2 用法・用量の説明	薬剤ごとの用法用量の説明
29	2 副作用と回避策の説明	薬剤ごとの代表的な副作用と点眼方法や処置による回避策の説明
30	2 正しい点眼方法の説明	医師からの説明の有無などの確認
31	2 点眼を忘れないための工夫の説明	時間設定の工夫の説明
32	2 点眼方法の工夫の説明	目薬の持ち方などの説明
33	2 点眼薬の注意の説明	点眼薬の期限、保管など注意点の説明
34	2 眼圧値、視野検査結果の確認	眼圧の変化の確認、視野検査結果の確認
35	2 点眼状況の確認	点眼に関する問題点など無いか、確認
36	2 副作用の確認	点眼による副作用が出ていないか確認
37	2 次回受診の確認	次回予約日などの確認
38	3 処方薬の確認	前回との変更点、残薬などの確認
39	3 効能効果の説明	薬剤ごとの効能効果の説明
40	3 用法・用量の説明	薬剤ごとの用法用量の説明
41	3 副作用と回避策の説明	薬剤ごとの代表的な副作用と点眼方法や処置による回避策の説明
42	3 正しい点眼方法の説明	医師からの説明の有無などの確認
43	3 点眼を忘れないための工夫の説明	時間設定の工夫の説明
44	3 点眼方法の工夫の説明	目薬の持ち方などの説明
45	3 点眼薬の注意の説明	点眼薬の期限、保管など注意点の説明
46	3 眼圧値、視野検査結果の確認	眼圧の変化の確認、視野検査結果の確認
47	3 点眼状況の確認	点眼に関する問題点など無いか、確認
48	3 副作用の確認	点眼による副作用が出ていないか確認
49	3 点眼薬に関する困りごと	点眼薬に関する問題点など無いか確認
50	3 次回受診の確認	次回予約日などの確認

選択	確認	選択肢名称
100	10	説明なし
101	10	説明あり
102	11	開放隅角緑内障
103	11	閉塞隅角緑内障
104	11	正常眼圧緑内障
105	11	高眼圧症
106	11	経過観察
107	11	術後の一過性眼圧上昇
108	14	合併症なし
109	14	合併症あり
110	18	プロスタグランジン関連薬
111	18 α2 刺激薬	
112	18 α1 遮断薬	
113	18 αβ遮断薬	
114	18 非選択制交換神経刺激薬	
115	18 β遮断薬	
116	18 炭酸脱水素酵素阻害薬	
117	18 R O C K 阻害薬	
118	18 副交感神経刺激薬	
119	20 プロスタグランジン関連薬	
120	20 α2 刺激薬	
121	20 α1 遮断薬	
122	20 αβ遮断薬	
123	20 β遮断薬	
124	20 炭酸脱水素酵素阻害薬	
125	20 R O C K 阻害薬	
126	20 副交感神経刺激薬	
127	20 抗コリンエステラーゼ薬	
128	20 交感神経刺激薬	
129	20 β1 遮断薬	
130	20 副作用回避	
131	21 点眼量	
132	21 2剤以上の場合	
133	22 点眼薬の置き場所	
134	22 印つけ	
135	22 アラムの設定	
136	23 二点法	
137	23 三点法	
138	23 アカンペー法	
139	23 げんこつ法	
140	24 使用期限の説明	
141	24 1本あたりの使用日数	
142	24 保管状態の説明	
143	26 来局間隔の確認	
144	26 前回との比較、残薬の確認	
145	26 後発品変更希望の確認	
146	27 プロスタグランジン関連薬	
147	27 α2 刺激薬	
148	27 α1 遮断薬	
149	27 αβ遮断薬	
150	27 非選択制交換神経刺激薬	
151	27 β遮断薬	
152	27 炭酸脱水素酵素阻害薬	
153	27 R O C K 阻害薬	
154	27 副交感神経刺激薬	
155	29 プロスタグランジン関連薬	
156	29 α2 刺激薬	
157	29 α1 遮断薬	
158	29 αβ遮断薬	

転記	選択	確認	転記文言	SO
300	100	10	疾患や処方薬についての説明なし。	O
301	100	10	疾患についての説明なし。	O
302	100	10	処方薬についての説明なし。	O
303	101	10	処方薬の用法が不適切。	O
304		10	疑義照会 () 。	A
305	102	11	開放隅角緑内障と認識している。	O
306	103	11	閉塞隅角緑内障と認識している。	O
307	104	11	正常眼圧緑内障と認識している。	O
308	105	11	高眼圧症と認識している。	O
309	106	11	緑内障とは診断されていない。	O
310	106	11	現在、診断名つかず。経過観察と認識している。	O
311	107	11	術後の一過性の眼圧上昇と認識している。	O
312		11	処方医から緑内障としか言われていない。	O
313		11	病態について理解している。	O
314		11	病態について、理解していない。	O
315		11	眼圧値 (R: mmHg, L: mmHg) 。	O
316		11	次回、病態について確認。	P
317		12	治療期間 () 。	O
318		12	前回まで他薬局にて調剤、治療継続中。	O
319		12	今回より処方変更あり。	O
320		12	眼圧確認 (R: mmHg, L: mmHg) 。	O
321		13	治療中止していた理由 () 。	O
322		13	治療を再開した理由 () 。	O
323		13	治療歴、過去にあり (年頃) 。	O
324		13	眼圧値 (R: mmHg, L: mmHg) 。	O
325	108	14	合併症、現在特に無しとのこと。	O
326	109	14	合併症あり () 。	O
327	109	14	併用薬、現在特に無しとのこと。	O
328	109	14	併用薬あり () 。	O
329	109	14	気管支喘息、治療中。	O
330	109	14	気管支喘息、既往歴あり。	O
331	109	14	合併症について、処方医に報告済み。	O
332	109	14	合併症について、処方医に報告していない。	O
333	109	14	疑義照会 () 。	A
334		15	治療の必要性を感じていない様子あり。	A
335		15	眼圧が高くない緑内障について説明。継続治療の必要性を説明。	A
336		15	正常眼圧緑内障であっても、眼圧を下げることで緑内障の進行が抑えられるデータもあり。	A
337		15	今後のQOLの向上のためにも、治療の必要性を説明。	A
338		16	失明への不安が強い (失明への恐怖にショックを受けている) 。	O
339		16	失明への不安が強い。治療を継続することで、日常生活に困らない視野を保てる場合あり。	A
340		16	緑内障＝失明の不安強い。眼圧コントロールで視野を保てる可能性が高いことを説明。	A
341		17	治療に対して、自覚症状がないためか、積極的ではない。	A
342		17	眼圧が高いだけと認識し、治療の必要性を感じていない。	A
343		17	眼圧と視神経障害について説明。眼圧を下げる治療により緑内障の発生率が低くなる。	P
344	110	18	ぶどう膜強膜からの房水流出を促進し眼圧を下げる作用があることを説明。	P
345	111	18	ぶどう膜強膜からの房水流出を促進し、房水の産生自体も減らし眼圧を下げる作用が。	P
346	112	18	ぶどう膜強膜からの房水流出を促進し眼圧を下げる作用があることを説明。	P
347	113	18	ぶどう膜強膜からの房水流出を促進し、房水の産生自体も減らし眼圧を下げる作用が。	P
348	114	18	ぶどう膜強膜・線維柱帯からの房水流出を促進し、房水の産生自体も減らし眼圧を下。	P
349	115	18	房水の産生を減らし眼圧を下げる作用があることを説明。	P
350	116	18	房水の産生を減らし眼圧を下げる作用があることを説明。	P
351	117	18	線維柱帯からの房水流出を促進することで眼圧を下げる作用があることを説明。	P
352	118	18	線維柱帯からの房水流出を促進することで眼圧を下げる作用があることを説明。	P
353		18	効能効果を説明。	A
354		19	処方薬の用法・用量を説明。	A
355		19	1回の点眼量は、1滴で十分であることを説明。	P
356		19	1回の点眼量は、1～2滴で十分であることを説明。	P
357	119	20	点眼後、まぶたに色素が沈着することがあると説明。	P
358	119	20	点眼後、まぶたが濃くなるがあると説明。	P